

# 日本ハンドボール協会公認審判員 C級を申請される方へ



# 平成31(2019)年度以降 公認C級審判員審査について

平成31年1月26日

(公財) 日本ハンドボール協会審判委員会

(上級申請の要件)

第6条(1) C級の審査を受ける場合には、D級を取得してから満1年を経ているなければならない(申請時に満1年を経ているなくてもよい)。

(C級の申請)

第7条 C級を申請する公認審判員は、所定の公認C級審判員申請書に手帳と別表1の審査料・認定料をそえて各都道府県審判委員会に提出する。各都道府県審判委員会は、提出された公認C級審判員申請書と手帳の記入内容を確認し、**筆記試験による審査**を経て、審査料・認定料とともに、各都道府県審判長の推薦書をそえて、各ブロック審判長に申請する。

- ④ C 級申請者は、ブロックまたは各都府県、各連盟における審判講習会にて、競技規則試験を受ける。試験問題はすでに指定されてある 3 つの中から審判講習会の主催者にて 1 つ選択し、実施する。所要時間は 20 分とする。
- ⑤ 筆記試験は 60 点以上（15 問以上の正答）とする。60 点に満たない場合は、申請者の意思があれば追試験を受けることができる。追試験は同日に行うこともできるが、別日の場合は責任ある立場（ブロック、都道府県審判長、各都道府県における連盟審判長等）の立ち会いのもとに行わなければならない。追試験の回数は問わない。
- ⑥ **筆記試験に合格した者のみ**、手帳、申請書、審査料・認定料を添えてブロック審判長へ提出する。その際、C 級審判申請書の推薦書の欄に筆記試験実施日および合格時の点数を記載する。

＜変更＞これまでの「完答型」を IHF 方式である「加点・減点型」に改めます。

例) 問題の選択肢が a b c d e の 5 つに対し、解答が a c d の 3 つの場合

1) a c d と正しく答えた場合 → 3 点を与える

2) a d と答えた場合 → 2 点を与える

3) a と答えた場合 → 1 点を与える

4) a b d と答えた場合 → 1 点を与える

b e 等 選べない解答をした場合は -1 にする。

この場合、a d を選択して 2 点 b を選択して -1 点となるため結果的に 1 点となる。

5) b e と答えた場合 → 0 点となる

各問題の最低点は 0 点とする。 この場合は選べない 2 つの答えを選択しているが、-2 点とはならない。

# 解答用紙

氏名		性	男 女	年齢		級		得点	
級		級	所属	都道府県協会					
実施日	年 月 日		審査会名						

問題番号	解 答	点	問題番号	解 答	点
1			14		
2			15		
3			16		
4			17		
5			18		
6			19		
7			20		
8			21		
9			22		
10			23		
11			24		
12			25		
13					

# 解答用紙(2019-2020 C級審査)

氏名		性	男 女	年齢		級		得点	54
級		級	所属	都道府県協会					
実施日	年 月 日		審査会名						

問題番号	解 答	点	問題番号	解 答	点
1	b	1	14	b, c	2
2	a, c, e	3	15	c	1
3	b, c, e, f	4	16	b, c	2
4	c	1	17	d	1
5	a, c, e	3	18	b, d	2
6	b, c	2	19	b, d, e	3
7	b, d, f	3	20	c, d	2
8	c	1	21	a, b, d	3
9	b	1	22	a, b, c, d, e	5
10	c	1	23	e	1
11	b, e, f	3	24	b, d	2
12	c, d, e	3	25	b, e	2
13	c, d	2			26

28

C級については 54×0.6=33点以上を合格点とする

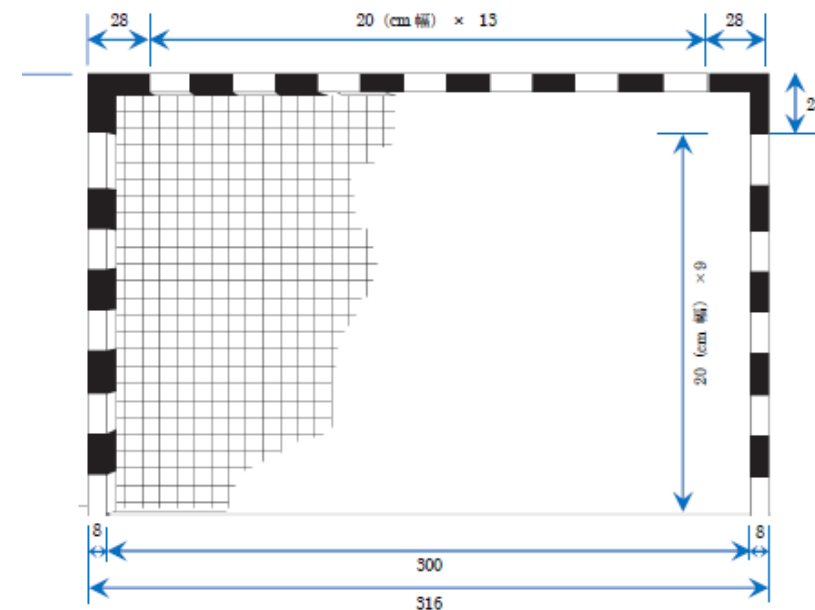
# 2020-2021 C級審査用 競技規則問題

今年度のC級審査で使用する競技規則問題の解説を載せています。記載している〔競技規則書の項目〕から競技規則書の条文を読み、それぞれの答えの根拠を探しながら理解していきましょう。満点を目指して繰り返し学習をしておいてください。

## 《問題集》 第1条 コート 1-1

1 ゴールの内のりの正しい寸法はどれか。

- (a) 1.92 × 2.92 m
- (b) 2.00 × 3.00 m**
- (c) 2.05 × 3.05 m
- (d) 2.08 × 3.08 m



**【競技規則書】**  
**第1条 コート 1-2 ゴール**

## 《問題集》 第2条 競技時間、終了合図、タイムアウト 2-4

- 2 競技の終了合図の後、白チームがフリースローを行おうとしていた。まず白チームの 3 番が、次に白チームの 4 番がコートから出て交代地域へ戻った。それから白チームの 5 番が、次いで白チームの 6 番がコートに入場した。以下のうち、正しいものはどれか。

**ラストワンスローは攻撃側1名のみ交代可能**

- ☒ (a) タイムキーパーは笛を吹いて白チームに不正交代があったことを告げる
- ☐ (b) 白チームの 4 番は不正交代により 2 分間退場となる
- ☒ (c) 白チームの 6 番は不正交代により 2 分間退場となる
- ☐ (d) 規則違反はないので、タイムキーパーは笛を吹かない
- ☒ (e) 白チームのフリースロー
- ☐ (f) 黒チームのフリースロー

**【競技規則書】**

**2:5 ラストワンスローの際の交代規定**

**4:5 不正交代**

**16:3a 2分間退場**



# ★《問題集》 第2条 競技時間、終了合図、タイムアウト 2-29

3 攻撃側プレーヤー白チームの 7 番は、味方のプレーヤー 8 番にパスをした。このとき、白チームのチームタイムアウトの請求により、タイムキーパーは笛を吹いた。両レフェリーとプレーヤーはこの笛の合図に気づかず、白チームの 8 番は味方の 10 番にパスをし、明らかな得点チャンスとなった。白チームの 10 番は、黒チームの 5 番により不当に防御された。レフェリーは白チームへの 7 m スローを判定し、黒チームの 5 番を 2 分間退場とした。チームタイムアウトの請求によりタイムキーパーがすでに笛を吹いていたことを、レフェリーはこの時点になって知った。

- (a) 白チームに 7 m スロー **罰則は適用！**
- (b) 黒チームの 5 番を 2 分間退場
- (c) 白チームのチームタイムアウト
- (d) 黒チームのゴールキーパースロー
- (e) 競技の再開の合図
- (f) タイムキーパーが笛を吹いたときに白チームの 7 番がいた位置から、白チームのフリースローで競技を再開

## 【競技規則書】

**2:9.2:9注, タイムアウトの手順**

**13:4a, 競技が中断した後は**

**15:5b 競技の再開における笛の合図**

**解釈3 第3段落 チームタイムアウト**

## 《問題集》 第3条 ボール 3-4

4 レフェリーは予備のボールを使用した。いつ元のボールに戻すべきか。

(a) 次の競技中断時

(b) 予備のボールが使用不能にならないければ、元のボールを再び使用することはできない

(c) レフェリーが必要と考えたとき

(d) どちらかのチームから要求されたとき

**【競技規則書】**  
**3:4 ボールの交換**

## 《問題集》 第4条 チーム、交代、服装、プレイヤーの負傷 4-22

5 白チームのゴールキーパー 1 番がシュートを止め、ボールは白チームの交代ベンチ近くのサイドラインに向かって転がっていった。ベンチに座っていた白チームの 5 番がコート内に片足を入れてボールを止めたので、ボールがサイドラインを越える前に白チームの 4 番はボールを所持することができた。

### 交代地域の選手が不正に競技を妨害

- (a) 黒チームのフリースロー
- (b) 黒チームのスローイン
- (c) 白チームの 5 番を 2 分間退場
- (d) (レフェリーはレッドカードを示し) 白チームの 5 番を失格
- (e) 白チームはコート上のプレイヤーを、2 分間 1 名減らす

#### 【競技規則書】

4:6 余計にプレイヤーが入ったら

13:1a どのような場合にフリースローとなるか

16:3a 退場とする場合

## 《問題集》 第4条 チーム、交代、服装、プレイヤーの負傷 4-37

- 6 負傷したプレイヤーを救護するために、レフェリーが白チームに対してコートへの入場許可を与えたとき、許されない行為はどれか。
- (a) 黒チームのプレイヤーが、コーチから指示を受けるためにサイドラインの近くに立つ **OK**
  - (b) 白チームのプレイヤーが、交代ラインの外側を通して交代する
  - (c) コートへ入場した白チームのチーム役員の一人が、負傷したプレイヤーから遠く離れた所に行き、自チームのプレイヤーに指示を出す

**【競技規則書】**

**4:4 交代の手順**

**4:11 コート内への入場許可(治療行為)**

## 《問題集》 第4条 チーム、交代、服装、プレーヤーの負傷 4-56

7 白チームの 2 番は肘のサポーターなしに、ウォーミングアップをしていた。ゲーム開始から 5 分後、白チームがボールを保持した際に、白チームの 2 番は正しく交代した。そのときレフェリーは、白チームの 2 番が硬い素材部分が被覆されていない肘のサポーターを着用していることに気づいた。 **インプレー中**

- (a) 硬い素材が被覆されていない肘のサポーターの着用は許されるので、競技をそのまま続行
- (b)** レフェリーは速やかに競技を中断し、白チームの 2 番に対し、肘のサポーターを外すか、硬い素材部分を覆うなど違反を正すまで、出場が認められないことを伝える
- (c) 白チームの 2 番に、段階的罰則を適用する
- (d)** 白チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する **チーム責任者に管理責任がある！**
- (e) 白チームのフリースローとする
- (f)** 黒チームのフリースローとする

### 【競技規則書】

**4:9 シューズ、身に着けてはならないもの  
付録2 着用できない装具**

## 《問題集》 第5条 ゴールキーパー 5-6

- 8 白チームのゴールキーパー 1 番はシュートを止めたが、ボールはプレーイングエリアでひとり待ち構えていた黒チームの 6 番の方へ向かって転がっていった。ボールがゴールエリアライン上に来たとき、白チームのゴールキーパー 1 番は、片足でそのボールを止めた。

**GKが足でボールに触れられるのはゴールに向かってくるボールに対してのみ！**

- (a) 笛の合図の後に白チームのゴールキーパースロー
- (b) 白チームのゴールキーパー 1 番に段階的罰則を適用
- (c) 黒チームのフリースロー**
- (d) 黒チームの 7 m スロー

**【競技規則書】**

**5:10 足で触れること**

**13:1a どのような場合にフリースローとなるか**

## 《問題集》 第6条 ゴールエリア 6-18

- 9 黒チームのゴールキーパー 1 番は白チーム 9 番が放ったシュートを防ぎ、ボールは黒チームの選手が待っているプレーイングエリアに向かって転がっている。ゴールキーパーがシュートを防いだ際に負傷したため、レフェリーはまだボールがゴールエリア内にある時点で競技を中断した。

**転がっている間は、引き続き競技中である。  
GK側のチームがボールを所持している状態である。**

- (a) 白チームのフリースロー
- (b) 黒チームのゴールキーパーズロー**
- (c) 黒チームのフリースロー

- 6 の 5      ボールがゴールエリア内で転がっている間は、引き続き競技中である。ゴールキーパー側のチームがボールを所持している状態であり、そのゴールキーパー

**【競技規則書】  
6:5 転がっている間は**

## 《問題集》 第7条 ボールの扱い方・パッシブプレー 7-7

10 白チームの 5 番は攻撃を開始しようとボールを弾ませながら 5 歩進み、それからボールを再び掴んでパスをした。

- (a) 黒チームのフリースロー
- (b) 白チームのフリースロー
- ☒ (c) そのまま競技を続行
- (d) 黒チームの 7 m スロー

**【競技規則書】**  
**7:4b ドリブル**



## 《問題集》 第8条 違反・スポーツマンシップに反する行為 8-15

- 11 白チームは速攻を開始した。白チーム 5 番は、黒チームのゴールエリアライン際でノーマークになっている白チームの 7 番を見つけ、パスを出した。そのとき、黒チームのチーム役員 D がコートに走り込んできて、出されたボールをキャッチした。

### チーム役員がコート内の競技を妨害したら

- (a) 白チームのフリースロー
- ☒ (b) 白チームの 7 m スロー
- (c) 黒チームのチーム役員 D を 2 分間退場
- (d) 黒チームのチーム役員 D を、報告書を伴わない失格（レッドカード）
- ☒ (e) 黒チームのチーム役員 D を、報告書を伴う失格（レッドカードとブルーカード）
- ☒ (f) 黒チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

#### 【競技規則書】

**8:10b 極めてスポーツマンシップに反する行為**

**14:1a 次の場合に7mスローを判定する**

**16:6b 失格となる場合**

## 《問題集》 第8条 違反・スポーツマンシップに反する行為 8-32

12 スポーツマンシップに反する行為と見なされるものはどれか。

- (a) ボールの方向へと移動していない防御側プレイヤーの顔面にボールをぶつける **RC**
- (b) ゴールキーパーが露骨に 7 m スローを止めようとしないう **RC**
- ☒ (c) 演技によりレフェリーの判断を欺く
- ☒ (d) 防御側プレイヤーが足の膝より下の部位でシュートを積極的に妨害する
- ☒ (e) 戦術的な理由で、繰り返しゴールエリアに侵入する
- (f) 違反された後の報復行為 **RC**

**【競技規則書】**

**8:7 罰則を適用すべきスポーツマンシップに反する行為**

## 《問題集》 第8条 違反・スポーツマンシップに反する行為 8-51

- 13 白チームは 7 人攻撃を行っていた。白チームの 4 番はシュートを行ったが、黒チームのゴールキーパー 12 番に止められた。黒チームの 9 番は黒チームの 12 番からパスを受け取り、シュートを打った。白チームの コートプレイヤー 10 番がゴールエリアに侵入しそれを阻止し、ボールはそのままアウターゴールラインを通過した。

**GK不在**

- (a) 黒チームのスローイン
- (b) 黒チームのフリースロー
- (c) 黒チームの 7 m スロー**
- (d) 白チームの 10 番に段階的罰則を適用**

**【競技規則書】**

**4:1 チームの構成**

**8:7 罰則を段階的に適用すべきスポーツマンシップに反する行為**

**14:1a 次の場合に7mスローが判定される**

**16:1b 警告とする場合**

**16:3d 退場とする場合**

**ガイドライン↓**

**コートプレイヤーのゴールエリア侵入 (8 : 7f)**

チームがゴールキーパーなしでプレーしていてボールの保持を失った場合、自チームが有利になるためにコートプレイヤーが自陣のゴールエリアに立ち入った場合も (8 : 7f を適応して) 段階的罰則を与える。

## 《問題集》 第9条 得点 9-8

14 黒チーム 9 番の 7 m スローによる得点后、すぐに白チームはレフェリーによるスローオフの笛の合図の後にクイックスローオフを行い、2 回のパスので、白チームの 4 番の得点に結びつけた。そのときタイムキーパーは笛を吹き、「今ベンチに戻っている黒チームの 9 番は、7 m スローを行った時点で、2 分間の退場時間がまだ 20 秒残っていた」と説明した。

- (a) 黒チームの 7 m スローを再度実施
- (b) 黒チームの 9 番に 2 分間退場を追加**
- (c) 両チームの得点とも有効 **スローオフの笛で得点は成立****
- (d) 両チームの得点とも無効

### 【競技規則書】

**4:6 余計にプレーヤーが入ったら**

**9:1 得点**

**9:2 スローオフの笛で取り消しはできない**

**16:3a 退場とする場合**

## 《問題集》 第10条 スローオフ 10-5

- 15 白チームがスローオフを行おうとしていた。黒チームのゴールキーパー 1 番はまだ自陣のゴールエリアに戻っていない。この状況でコートレフェリーは競技開始の笛を吹き、白チームの 9 番が得点を決めた。
- (a) センターラインから白チームのフリースロー
  - (b) スローオフを再度実施
  - (c) 得点**
  - (d) 黒チームのフリースロー

### 【競技規則書】

**9:1 得点**

**10:4 スローオフの際のプレーヤーの位置**

**15:2 手を放したときにスローを行ったとみなす**

## 《問題集》 第11条 スローイン 11-5

16 スローを行うとき、防御側チームがボールから 3 m よりも近づくことを認められているのはどのケースか。

- (a) レフェリーがスローの実施の合図を与えた直後
- ☒ (b) スローを行うプレイヤーの手からボールが離れたとき
- ☒ (c) フリースローやスローインの際、自陣のゴールエリアに沿って立っているとき

### 【競技規則書】

11:5 相手プレイヤーの位置

13:8 フリースローの際の相手のプレイヤーは

15:4 スローの際の防御側プレイヤー

## 《問題集》 第12条 ゴールキーパーズロー 12-4

- 17 白チームのゴールキーパー 12 番がゴールキーパーズローを行おうとしたとき、ボールを手から落としてしまい、足に当たった。ボールはそのまま、ゴールエリアラインを越えてプレーイングエリアに出た。白チームのゴールキーパー 12 番は追いかけてボールを拾い上げ、ゴールキーパーズローを再度行うためにゴールエリアに戻った。
- (a) 黒チームの 7 m スロー
  - (b) 黒チームのフリースロー
  - (c) タイムアウト
  - ☒ (d) 誤った位置を正し、笛の合図の後にゴールキーパーズロー

### 【競技規則書】

**12:2** どのように行うか

**15:5b** 競技の再開における笛の合図

## 《問題集》 第13条 フリースロー 13-3

18 白チームにフリースローが判定された。ボールを持っていた黒チームの 6 番が、フリースローが行われるべき位置から 4 m 離れたところまでボールを運んだ。

- (a) 黒チームの 6 番を警告
- ☒ (b) 黒チームの 6 番を 2 分間退場
- (c) 黒チームの 6 番を失格（レッドカードを提示）
- ☒ (d) 違反の起こった地点から白チームのフリースロー
- (e) 今、ボールがある地点から白チームのフリースロー

### 【競技規則書】

**8:8b 即座に2分間退場とすべきスポーツマンシップに反する行為**

**13:5 相手のフリースローになった場合相手プレイヤーは**

**13:6注 フリースローの実施**

**16:3f 退場とする場合**



## 《問題集》 第14条 7mスロー 14-16

19 白チームの 6 番が速攻を仕掛け、明らかな得点チャンスとなったとき競技場の照明が消えた。

- (a) レフェリーは明らかな得点チャンスの結果を待つ **外的な影響で競技を中断**
- (b)** レフェリーは直ちに競技を中断し、タイムアウトを取る
- (c) 照明が復旧した後、白チームのフリースローにより競技を再開する
- (d)** 照明が復旧した後、白チームの 7 m スローにより競技を再開する
- (e)** 記録用紙にその旨を記載

**【競技規則書】**

**14:1c 次の場合に7mスローを判定する**  
**解釈2a タイムアウト**

## 《問題集》 第15条 スローの実施に関する一般的な指示 15-4

20 白チームのゴールキーパー 12 番はゴールキーパーズローを行おうと、片手でボールを持ってゴールエリア内に立っていた。黒チームの 6 番は、開いた片手でゴールキーパーの手からボールを払い落とした。

**ゴールエリアラインを完全に  
通過した時点でGKスロー成立**

(a) 笛の合図なしに、白チームのゴールキーパーズロー

(b) 笛の合図なしに、白チームのフリースロー

**(c)** 笛の合図の後に、白チームのゴールキーパーズロー

**(d)** 黒チームの 6 番に段階的罰則を適用

### 【競技規則書】

**12:1 どのような場合にゴールキーパーズローになるか**

**12:2 どのように行うか**

**15:5 競技の再開における笛の合図**

**15:9 スローに対する違反**

**16:1a 警告とする場合**



## 《問題集》 第16条 罰則 16-9

21 白チームの 3 番が 2 分間退場となった。コートから出た後、競技が再開される前 **2+2** に、交代地域で黒チームのチーム役員 B に対して著しくスポーツマンシップに反する行為をした。その直前に黒チームのチーム役員 B は、許可が与えられていないにも関わらずコート内に走り込んできたが、まだ罰則は適用されていなかった。

- (a) 白チームの 3 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカードを提示する）
- (b) 黒チームのチーム役員 B を警告とする
- (c) 白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 2 名減らす
- (d) 白チームはコート上のプレーヤーを 4 分間 1 名減らす

### 【競技規則書】

#### 4:2 役員の構成

#### 8:9 失格と判定すべき著しくスポーツマンシップに反する行為

#### 16:1b 警告とする場合

#### 16:6b 失格となる場合

#### 16:9c 一度に行った複数の違反(重たい罰則を適用する)

## 《問題集》 第16条 罰則 16-21

22 チームがコート上のプレーヤーを 4 分間減らさなければならない状況はどれか。

- (a) 失格となったプレーヤーがコートから出るとき、2 分間退場に相当する態度で抗議した
- (b) 2 分間退場となったプレーヤーがコートから出るとき、レフェリーを侮辱し、失格となった
- (c) 相手に対するスポーツマンシップに反する行為により 2 分間退場となったプレーヤーが、まだコート内にいる間に、相手の顔を殴り失格となった
- (d) スポーツマンシップに反する行為により 2 分間退場となったプレーヤーが、一旦、サイドラインを越えてコートを出た後、再びコートに戻って抗議した。そのためレフェリーは、2 分間退場を追加した
- (e) プレーヤーが相手に唾を吐いて失格となった。さらにコートから出るとき、レフェリーを押した
- (f) プレーヤーが相手に危害を及ぼす行為により失格となった。コートから出た後、競技の再開後に観客席からレフェリーを侮辱した

**2+2=4分間になるのは罰則  
が適用され再開の前に罰則を  
繰り返したときのみ**

**【競技規則書】**

**16:9 一度に行った複数回の違反**

## 《問題集》 第17条 レフェリー 17-5

23 報告書の作成が必要となるのは、どの罰則か。

- (a) 3 回目の 2 分間退場に伴う失格を除くすべての失格
- (b) 注意を除くすべての罰則
- (c) すべての 2 分間退場と失格
- (d) 競技終了前 30 秒間に、相手が明らかな得点チャンスを得ることを妨害する目的で行った、危害を及ぼす行為や著しくスポーツマンシップに反する行為に対する失格
- (e) 極めてスポーツマンシップに反する行為による失格**
- (f) 競技終了前 30 秒間に、相手が明らかな得点チャンスを得ることを妨害する目的で行ったすべての段階的罰則

**フルカード→報告書→  
裁定委員会**

### 【競技規則書】

**8:5 失格と判定すべき違反行為**

**8:10a～d 極めてスポーツマンシップに反する行為**

**16:6 失格となる場合**

**17:10 記録用紙が仕上がっていることを確認**

# 《問題集》 第18条 タイムキーパー、スコアラー 18-4

## インプレー中→相手ボール

24 黒チームのフリースローライン際で白チームがボールを所持していた。TD は競技を中断し、黒チームのチーム役員 A から侮辱されたとレフェリーに説明した。

- (a) 黒チームのチーム役員 A を注意し、報告書を作成する
- ☒ (b) 黒チームのチーム役員 A を失格とし、報告書を作成する（レッドカードとブルーカードを提示する）
- (c) 黒チームの交代地域の前から、白チームのフリースローで競技を再開する
- ☒ (d) 黒チームのフリースローライン際から、白チームのフリースローで競技を再開する

### 【競技規則書】

8:10a 極めてスポーツマンシップに反する行為

13:6 フリースローの実施

16:6b 失格となる場合

解釈7.B.b タイムキーパーやTDによる競技の中断

交代地域規定5 コーチングゾーン

## 《問題集》 交代地域規定 2

- 25 白チームのチーム役員 A はベンチにいるとき、すでに警告となっていた。その後、白チームのチーム役員 A は交代地域を去って観客席に移った。そして観客席から、レフェリーの判定に抗議し続けた。
- (a) 何もできない
  - ☒ (b) 白チームのチーム役員 A を 2 分間退場
  - (c) 白チームのチーム役員 A を失格とし、報告書は作成しない（レッドカードを提示する）
  - (d) 白チームのチーム役員 A を失格とし、報告書を作成する（レッドカードとブルーカードを提示する）
  - ☒ (e) 白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

### 【競技規則書】

**8:7a 罰則を段階的に適用すべきスポーツマンシップに反する行為**

**16:3e 退場とする場合**

**交代地域規定5 コーチングムーンでは 6 交代地域違反による罰則**